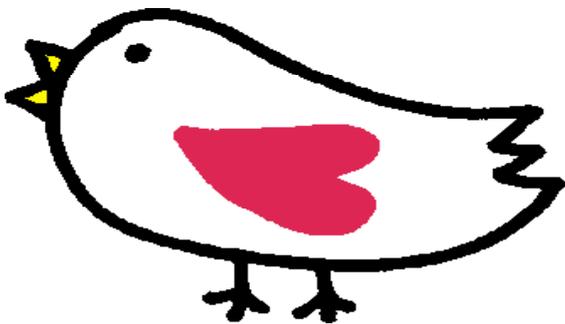


SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

- ☆虫めがね・・・・・・・・・・2
- ☆虫めがね2・・・・・・・・・・3
- ☆新メンバー紹介、
スケジュール、クイズ・・・・4
- ☆料理教室感想、寄付・・・・5
- ☆小野塚連載・・・・・・・・・・6
- ☆岡本連載・・・・・・・・・・7
- ☆太田連載、和栗連載、
活動報告・・・・・・・・・・8
- ☆学習会・・・・・・・・・・9
- ☆外に出よう、クイズ解答
・・・・・・・・・・10
- ☆夕会・・・・・・・・・・11
- ☆編集後記・・・・・・・・・・12



巻頭文

弥生声を聞いたとたん送迎車の窓に春の花が目立つようになりました。この冬はいつもの年よりも寒かったように感じています。皆様はいかがお過ごしでしたか……。最近春を乗り越えたような暖かさが続いています。TVによるとまた寒さが逆戻りするそうです。でも春はすぐそこに来ています。頑張りましょう！

太田 圭子

虫めがね ～お世話になったあの人へ～

今回のテーマは「お世話になったあの人へ」ということなので考えた結果、六十二年ぐら前にお世話になった、お隣の小母さんとの思い出を書きます。そのころの家は中学生の兄を頭に四人の子供と、仕事に忙しく家のことを顧みられない父に囲まれて、母も家事と子供達の世話に追われていて、私を何処かへ遊びに連れて行くなど、余裕もなかったのだと思います。そんな家の事情を察した小母さんは、私を上野動物園に連れて行き、お猿の電車に乗せてくれました。私が人の手を借りて曲がりなりにも、歩けるようになったのは十三、四才になった頃でしたから、負ぶって連れて行ってくれたのだとは思いますが記憶はありません。もう遠い遠い過去になってしまいましたが、その小母さんも亡くなったと聞きました。私を初めて遊びに連れて行ってくれた小母さんに、その後お礼を言う機会がなかったのです。このテーマを書けて良かったと思っています。取り上げてくれた方に感謝しています。有り難う。

太田圭子

河原さんに企画のパソコンで映画を調べてもらいました。レスパイトに行く時に紙に印を書いて持って行ってお台場で映画を見ました。

内田洋子さん。おふくろの妹で僕の叔母です。大好きです。

内田千春さん。芝でお世話になりました。

松本恵司



虫めがね ～お世話になったあの人へ～

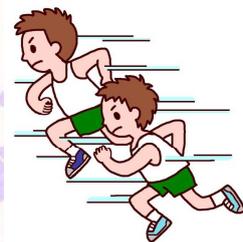


ここ風の子会に入る前、私はこの難病と指定された時、果たしてどう立ち向かえばいいのか悩んでいました。その時大変お世話になったカウンセリングの先生がいます。先生が仰るには「もっと肩の力を抜いて周りの人の協力を仰ぐようにすればいいじゃないか」ということを仰ったので、その通りにしたらまさしくそうでした。ですから、今私は頼れる所はボランティアさんに頼んで自分で出来ることは自分でというスタンスを貫いています。

三木 直人



当然今まで、色々な人にお世話になって生きてきたわけですが、その中でも特に、中学時代、2、3年の頃の担任の先生だったO先生を挙げたいです。先生には、主に体育、それと社会を教えていただきました。私は足が遅く、運動神経も決して良くなかったので、小学校時代の体育の成績はいつも3でした。中学に入ってすぐに先生に体育を教わることになったわけですが、小学校の頃にはなかった中距離、短距離のマラソンをやるようになり、私にも持久力だけは備わっていたことがわかり、その能力を評価してくれました。先生は学生時代、陸上競技を専門にしていたのですが、私が身の周りの整理が悪く、だらしない生徒だったので、そのことを色々心配してくれていたようです。二年生になってO先生が担任に決まり、私は喜びました。二年生の一時期、少しグレかけた頃もありましたが、先生は何度も家庭訪問をしてくれて、私の母と協力して何とか立ち直らせてくれました。私が理数科の勉強に興味を持っていて成績も良かったので、先生はそれを伸ばそうと、啓蒙書をプレゼントしてくれたりして応援してくれました。三年生になってちょっとしたことからO先生に反抗するようになってしまったのですが、先生は、教師、大人の目でやさしく見守ってくれていました。大きく人間が形成される多感な中学時代にO先生に教わる事ができて、本当に良かったと思っています。



ストーン・ゴッド



新メンバー紹介

氏名：塚田愛基

好きな事：バスケットボールと料理を作る事です。

バスケットのあのスピード感が好きな理由の1つです。

強いチームと強いチームが対戦した時の興奮と熱気と、1点差まで詰め寄った時の面白さはかなり面白いです。

料理は今も作ってるんですがレパートリーを増やしたいです。

これからやってみたい事：両手が使えるようになったらバスケがやってみたいです。

よろしくお願い致します。



塚田愛基

スケジュール

- 3月13日 運営委員会
- 3月10日 防災訓練
- 3月23日 外に出よう代表者会議
- 5月11日 外に出ようリーダー会議
- 5月18日 外に出よう全体集会
- 5月26日 外に出よう本番（山手線沿線）



Ryo's エニグマルーム

Q1, 4枚のエースと1枚のジョーカーを伏せて置いた。次のヒントから、カードの並びを当ててほしい。

1, クラブはハートのすぐ右隣にある。2, ダイヤもジョーカーもスペードの隣りではない。3, ジョーカーもダイヤもクラブの隣りではない。4, ダイヤもスペードもハートの隣りではない

Q2, 1から9までの数字を1回ずつ使って、『○○○○○-○○○○○=33333』になるようにするには、どの数字をどこにいれたらよいか

Q3, ジョーカー1枚を含む、一組のトランプ53枚が、数字の面を下にして乱雑に並べられている。ここから1枚ずつ引いていくとして、ジョーカーを引く前に、全部で4枚あるエースをすべて引く確率は、何パーセントだろうか

料理教室感想

掛橋さんの料理教室の感想を塚田がまとめました

Q.掛橋さんの班は何を作ったんですか？

A.私の班はカレーライス(甘口)を作りました。

Q.どんな作業をしましたか。

A.餃子を包んだのと、じゃがいもとにんじんの皮をむいたり具材を炒めたり、それから味見をたくさんしました

Q.作った料理の味はどうでしたか。

A.甘口は甘かったです。私は中辛の方が好きです。

Q.他の班が作ったもの味はどうでしたか。

A.美味しかったです

Q.調理実習をやってみてどうでしたか。

A.餃子の具を包むのが初めてだったので要領がよく分かりませんでした。しかし今回の事を体験した事により料理を作るのが面白くなりました。



掛橋 竜也
インタビュー：塚田 愛基



それから調理器具の不足も改善点だと思いました。
もう少し早く時間を設定してもっと早く始められるようにすると良いと思います。
次回はチョコを作りたいです。

塚田愛基



二月二十三日料理実習でカレーライスとちゃんこ鍋と餃子を作りました。
私達の班はカレーライスを作りました。微妙な味でした。でも作るの楽しかったです。僕は混ぜる担当でした。帰宅して疲れました。
改善点は時間が足りないのと準備不足だと僕は考えています。



僕の班はキムチ鍋を作りました。出来る料理作業は皮を剥がすくらいと少なかったです。楽しめました。次回はもっと作業に携わってみたいです。

田村 亮彦

賛助会にご賛同下さった方

黒澤フミ様
藤森榮子様
鈴木公子様

ご協力ありがとうございました。



寄付のお礼

わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第52話 Introspect Myself “ Part - 7 Wandering Around ”

正気を保てているのか、確信が全くないまま僕は歩いている。どこに向かっているのか、どこから歩いてきたのか、そんなことすらわからないままに。僕はいったい何者なのだろう、何のために生きているのだろう、そんなばかばかしくてくだらない形而上学的不毛な命題に取り込まれながら、どこへともなく僕は歩いている。

～．．．～．．．～

話を、元に戻そう。

～．．．～．．．～

沈黙が、しばらく続いた。お互いに何を言うべきか何を言わないべきかを躊躇し続けて膠着状態に陥っていた。その、緊張感から先に逃げ出したのは僕の方だった。「わりい、出るわ、ここ・・・」マルボロを啜えながらそう呟いたその声は驚くほどか細かった。「・・・大丈夫か？・・・」「・・・わっかんねえよ・・・」イチの心配は僕の耳には届いていなかった。

イチとは店の前で別れて、そこからどこへともなく歩き続ける。イチの話のほとんどは僕の思考に受け付けなかったが、しかしそれでも、いやそれとは別に事実は事実として受け入れざるを得なかった。イチとトモが付き合っている。それがどんな経緯のもとであったとしても事実なのだ。受け入れたくない事実を事実として受け入れなければならない。僕の頭は完全に混乱していた。

仲の良い友人と好意を抱いた異性が付き合う。よくある話だ。けれど何故、僕がそんなよくある陳腐な恋愛ドラマの主人公にならなければならないのだ。行き場のない問いを何度も何度も繰り返しながら歩く。トモは何故、僕のデートもどきの誘いを受けたのだろう。トモは何故、僕の告白をあんな風にかわしたのだろう。すべては直接聞いてみなければわからないことだ。けれどもイチから突然聞かされたばかりの僕がトモの顔をまともに見られるかといえ、そんな勇氣は全くなかった。しかし、このままなにもせずにやりすごしてしまって、本当に僕自身は納得できるのだろうか。

「わっかんねえよ！・・・」遠吠えに近い叫びを吐きながら、鶴川街道を彷徨い続けた。

5分か10分か、あるいは永遠に続くかのように感じられる時間の中を漂いながら、ふと歩みを止めたのは小さな居酒屋の前だった。それは金井の交差点の手前にある店で、先輩たちに何度か連れてきてもらった事のある店だ。一人で来たことは今までなかったが、精神状態がまともでなくなりつつある僕は何のためらいもなく扉を開いた。

店は、カウンターが7、8席とその奥にテーブルが2卓という本当に小さな作りだ。入り口近くのカウンター席が空いているのをみつけて僕はそこにすわりと座り込む。「珍しいね。今日は一人かい？」店主がそう言いながらビールの中瓶と適当に見繕ったつまみをすつと出してくれる。多少の緊張感を押し殺しながら軽く会釈をしてビールを飲む。

店内は満席で賑やかさに満ち溢れている。僕の隣の席には若いサラリーマンとOLらしきカップルが楽しそうに飲んでいる。僕は出されたビールをざっと空けてウーロンハイを注文し、マルボロに火を付けた。昼食をあまりとらなかったせいで胃の中は空に近い。そんな状態で飲み続け、僕の胃は少し軋みはじめていた。

“ To Be Continued... ”

風の子便り連載

岡本 明

バリアフリーよもやま話 第18回 「3人の先駆者の物語」

1983年のある日、L・スキヤッデン博士はいつものようにワシントンの全米科学財団のオフィスでパソコンに向かって仕事をしていました。スキヤッデン博士は全盲の科学者です。そこへ友人のF・ボー博士とG・ヴァンダーハイデン博士が駆け込んできて、「大変だ。これからのパソコンは全盲の人には使えないものになってしまうぞ」と言うのです。ボー博士は全ろうでアメリカ障害者市民連合理事長、ヴァンダーハイデン博士はウィスコンシン大学の教授で、3人とも福祉の分野で大きな業績のある方です。

現在のパソコンはマウスでアイコンという絵などをクリックして使うグラフィカル・ユーザー・インタフェース（GUI）という方式ですが、当時のパソコンはすべて文字で命令を出して使う方法でした。たとえば印刷するには”print”のように打ちこむのです。画面も文字だけで、絵や写真は出せません。なんとも面倒で、味気ないものだったのですが、これは眼が見えない人にとっては大いに助かることでした。文字ならばパソコンはそれを合成音声で読み上げることができ、見えなくても何が画面に出ているかを理解することができたのです。ところが、絵や写真ではパソコンは読み上げることができません。見えない人はマウスを使うことは不可能です。

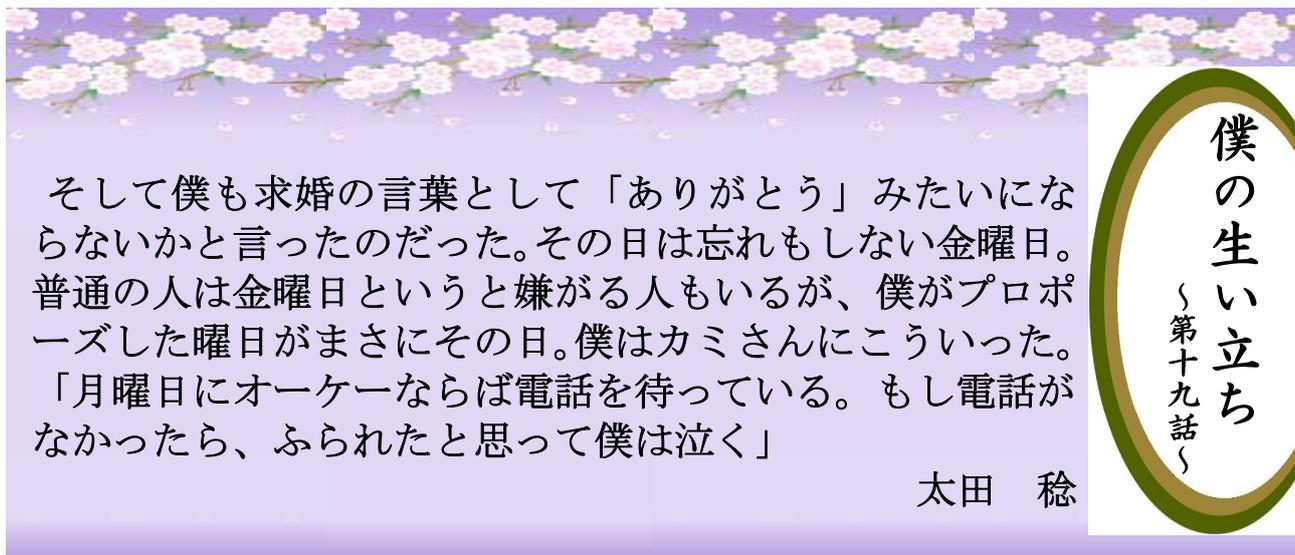


3人は、GUI方式のパソコンを眼が見えない人や手が使えない人にも使えるように、さらにパソコンだけでなくすべての電子機器を障害のある人にも使えるようにしなければならない、と企業や障害者団体に呼びかけて検討が始まりました。活動は国会議員の協力も得て順調に進み、早くも1986年にはその成果が法律に反映されることになりました。順調とは言っても、実際にはそれぞれの立場からの主張があってそう簡単ではなかった、とスキヤッデン博士は語っています。でも、「障害のある人も機械を使えるようにしよう」という目標は全員が理解し、それを目指して真摯な議論が行なわれたそうです。

アメリカには障害のある人のための有力な法律の一つに、1920年に作られた「リハビリテーション法」がありますが、1986年にこの法律が改正され、第508条「電子情報技術」が追加されました。508条ではコンピュータ、コピー機などの電子機器は障害のある人にも使えるようにしなければならない、ということが規定されています。

この508条は日本にも大きな衝撃を与えました。日本のメーカーは電子機器をアメリカにたくさん輸出していましたが、508条を守らないと売れなくなってしまうからです。同じころ、日本でも電子機器を障害のある人も使えるようにするための規格が検討されていました。この議論にも熱が入り、508条の内容も反映した日本工業規格JIS X 8341「高齢者・障害者等配慮設計指針」シリーズという一連の規格が作られました（8341は「やさしい」という意味です。日本のお役所もなかなか味のある番号をつけたものです）。現在のパソコンなどはこの規格を守って作られています。アメリカの3人の先駆者の先見の明と努力があったから、風の子会でも皆がパソコンを使えるのです。

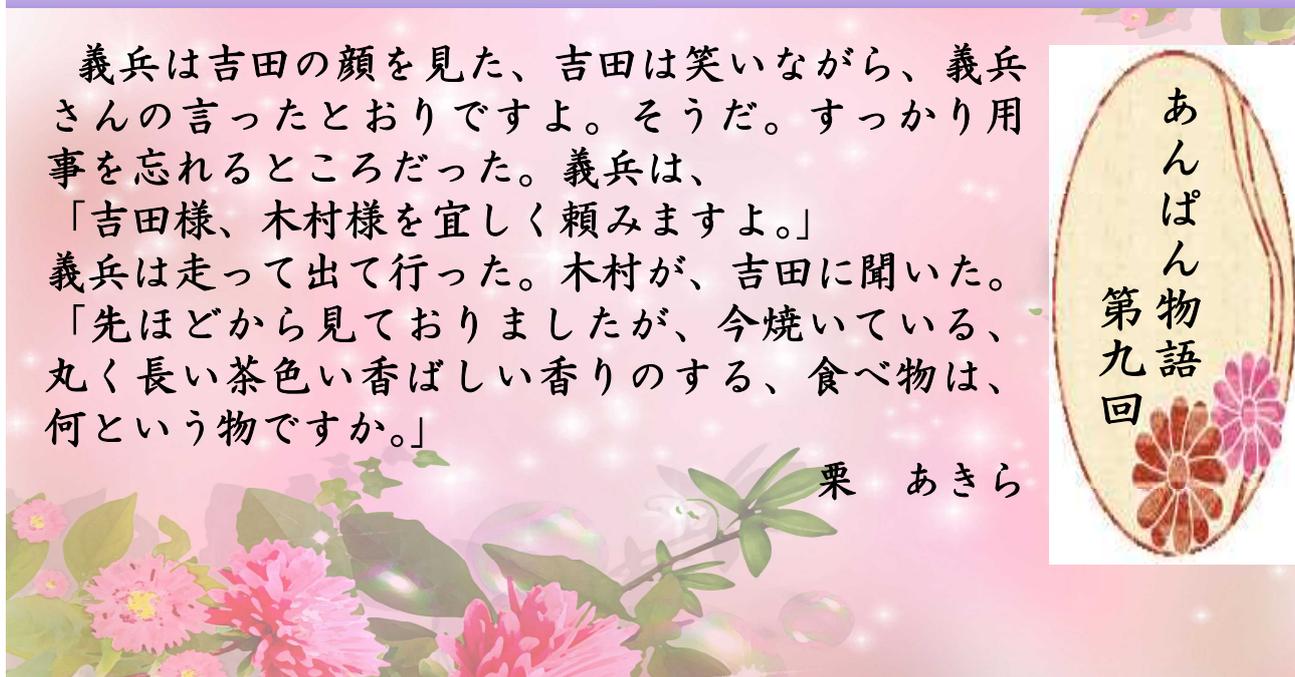




そして僕も求婚の言葉として「ありがとう」みたいにならないかと言ったのだった。その日は忘れもしない金曜日。普通の人には金曜日というと嫌がる人もいるが、僕がプロポーズした曜日がまさにその日。僕はカミさんにこういった。「月曜日にオーケーならば電話を待っている。もし電話がなかったら、ふられたと思って僕は泣く」

太田 稔

僕の生い立ち
第十九話



義兵は吉田の顔を見た、吉田は笑いながら、義兵さんの言ったとおりですよ。そうだ。すっかり用事を忘れるところだった。義兵は、「吉田様、木村様を宜しく頼みますよ。」義兵は走って出て行った。木村が、吉田に聞いた。「先ほどから見ておりましたが、今焼いている、丸く長い茶色い香ばしい香りのする、食べ物は何という物ですか。」

栗 あきら

あんぱん物語
第九回

活動報告

僕は、この欄を書くのが、はっきり言って苦手です。今月号は何を書いたらいいか解らないで困っていたら、職員さんがヒントをくれたので、それをもとに書いてみたいと思っています。

二月八日、十二日、十五日、風の子会に入所したいという人が実習生として来ました。

二月十六日、仙台から、研修のため、作業所の職員さんが「風の子会」を見学に来ました。

工房に色々な内職が来ていました。

外に出ようの委員会が開かれています。

認定NPO になるために会計を教えてくれる人が来ました。

太田 稔

学習会報告

2月6日、風の子のみんなで柴又へ行こうとしましたが、その日は雪が降ったために風の子の中でゲームをしました。ポクはオセロで太田さんに負けました。



2月13日、風の子会で理科の実験をやりました。炭にアルミホイルを巻きます。塩水につけると電気がつくはずでしたが、電気はつきませんでした。原因は炭にありました。そして、段ボール箱の真ん中をナイフで切って手で叩くと大きい空気が出ます。その名は空気砲です。あとは、ロウソクの火を声で消すという実験をしました。しかし、失敗でした。大成功したのは空気砲です。風の子のみんなは大喜びしていました。そして、外に出ようの話もしました。色んな意見が出ました。2月23日の会議で山手線沿線に決まりました。

2月20日、風の子会で音楽会がありました。演奏してくれたのは小出さんと松野さんです。やった曲はカノン（アレンジジャズ）、クルミ割り人形などです。そして、小出さんからトランペットとエレクーンの説明がありました。皆さんが真剣に聞いてました。岡本明さんと小出さん



アンド松野さんで演奏もしてくれました。最後は松野さんのエレクーン演奏で世界に一つだけの花を弾いてくれました。太田さんと松本さんがお礼の挨拶をしました。

2月27日、風の子さんで国語をやったそうです。前半は日本で使われている「カタカナ語とビジネス用語と福祉用語です。太田圭子さんが調べました。後半は都立高校の入試問題をみんなでやったそうです。勉強は上手く行ったそうです。

柳川 敬事

外に出よう

一年というものは早いもので、『障がい者は外に出よう』の季節になりました。ご存知ない方に説明しておきますと、『障がい者は外に出よう』とは？ 今迄あまり家から外出をした事のない障がい者に外出をしてもらって色々な風景を観たり、気に入った物を買ったりと人との交流をとってもらい知識を高めてもらうこと、そしてこの行事に沢山の障がい者が参加することで、（まだ家に籠もっている障がい者やご家族に『外に出ようよ！』と呼びかけ）、世間の人々に私達は今を精一杯生きているんだということをアピールすることにより今のバリアフリーで本当に良いのか？という疑問を世間に投げかけることが大きな狙いです。またボランティアに来てくれた方達にこの行事を通して今後のバリアフリーに対して障がい者と一緒に考え、お互いに尊重し合いながら生きようではないかと投げかける意味も持っています。少しでもボランティア活動に対して興味を持ってくればこの行事も大成功です。本番当日は、10名前後の班単位で行動します。（介助の必要な障がい者1名に対し、3名のボランティアという組み合わせを考えておりますのでご安心下さい。）下記に今年の日程を記しておきますので、ふるってご参加下さい。

障がい者&リーダー締め切り・・・四月三〇日（火）
ボランティア締め切り・・・五月十一日（土）
全体集会・・・五月十八日（土）
開催日・・・五月二十八日（日）
予備日（開催日が雨天の時）・・・六月 一日（日）

問合せ：外に出よう実行委員会風の子内



A 1, ダイヤ・ジョーカー・ハート・クラブ・スペード

A 2, 41286-7953又は41268-7935

A 3, 20%（実は、エースとジョーカー以外のカードは確率に影響しない。だから、ジョーカーとエース4枚の合計5枚のカードのうち、最後にジョーカーを引く確率と考えればよい。これなら、5回の機会のうちの1回なので5分の1。つまり20パーセント）

クイズの答え

二月二日【クラブ実行委員について】

前回の夕会で、太田稔さんがクラブ実行委員になり、一人では不安ということでメンバーを二・三名増員をしました。そのメンバーは、私田中、柳川さん、ボランティアの代表として・井出さん、職員の平沼さんです。これからのクラブ活動をこの五名が運営していきます。



二月九日【クラブ活動について】

前回の夕会で、クラブ実行委員が決まり、委員の方から皆に、今までの反省や活発な意見を話して貰おうと考え聞いてみました。『メンバー同士が、コミュニケーションも取れるので続けたい』や『本当は他のことがやりたい』などの意見となりました。そして、クラブ活動へ参加していただいている、ボランティアさんにも感想や意見などを聞きたいということになりました。次回の日程は、実行委員の方で決めさせていただきます。



二月十六日【料理教室の会費について】

二月二十三日に行われる、料理教室の会費について話し合いをしました。その結果、参加者全員五百円の会費と決まりました。



二月二十三日【料理教室の感想と反省について】

今回の料理教室では、カレーライス&ちゃんこ鍋&餃子を班に分かれて作りました。その後、参加者全員による反省会を行いました『楽しくできた！だがもっと包丁で食材を切りたかった』や『スタートする時間に全員揃わず時間が読めなかった』や『次回はもっと広い場所でやりたい』などの意見が出ました。その意見を次回に活かしてほしいですね。

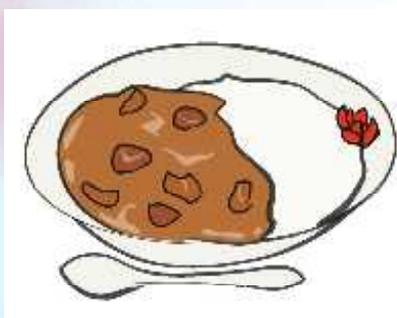


田中 聡

編集後記

料理教室に参加しました。班別に、カレーライス、ちゃんこ鍋、餃子を作り、みんなで食べました。去年は鉄板焼きだったので、夕食がいらなくなるほど食べまくりました。今年も夕食の分まで食べてやろうと意気込んでいたのですが、量的にちょうど良く作ったので、それはかきませんでした。作る方もほんの少し参加して、割と充実した時間でした。

ストーン・ゴッド



僕は障害者です。料理が得意です。簡単な丼ものをご紹介します。キャベツを千切りにして、冷凍食品の揚げ物を電子レンジで温めます。

丼にご飯を盛り、その上に千切りにしたキャベツと揚げ物をのせてから、ソースをかけて、出来上がりです。

柳川 敬事

★この冬はとても寒く今年の1月14日の成人式に日本全国で大雪となった。東京都心でも大雪になって8センチも雪が積もり交通機関にかなりの影響が出たり滑って転んでケガをした人が数多くいた様だ。そこで一言「東京に久々の大雪で幸（ゆき）が雪を見た!？」

★3月・4月になれば段々暖かくなり、桜が咲き花見の季節がやって来た。私はここ数年、桜の下でゆっくりと飲食をしながら会話を楽しんだ事が無いので、機会が出来たら実行したい。

★2年前つまり平成23年3月11日（金）東日本大震災が起こり多くの人々が被害に遭い東北、関東などで大騒ぎ！今もまだまだ避難者が多く、地震も時たま所々で起きている。あと1回くらいは関東地方などで大地震の可能性があると発表しているだけに油断は出来ない。皆さん！充分お気をつけ下さい・・・！！

幸 高史



ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

編集者
石神 太田 久野 塚
佐田 村中 野
松本 久野 塚
右田 村中 野
幸田 村中 野
和栗 頭 太史 郎

小田 野 塚
田中 野 塚
吉柳 三塚 田

圭 航子
主 人 基 聡 航子

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

